

# 試掘調査等の結果

# 1. 試掘調査等の結果

第2回はりまや町一宮線(はりまや工区)工事アドバイザー会議 資料

1. 試掘調査結果

- ・TR1においては、数回にわたる川への傾斜を確認することができ、6層以下素掘りの可能性がある。
- ・TR2においては、フラットな土の堆積を確認しているため、安定した生活面が広がっている可能性がある。
- ・TR3においては、明治から江戸にかけて4面の層位が確認できた。TR2と同様江戸期を通して安定した生活面が広がり遺構も確認できる。
- ・石灰岩より東(川側)は堆積状況が変化しており、下層において砂利層と砂層が見れることから、この地点から素掘りが始まると考えられる。
- ・素掘りの上層に堆積している砂利層と砂層は、大正年間の洪水による堆積の可能性が高い。
- ・TR4では、コンクリートによる根固めとその下から根石、それに伴う捨て石を確認した。
- ・TR5では、石垣下部で胴木を確認し、大量の木材も検出された。

2. 写真測量による石垣の調査

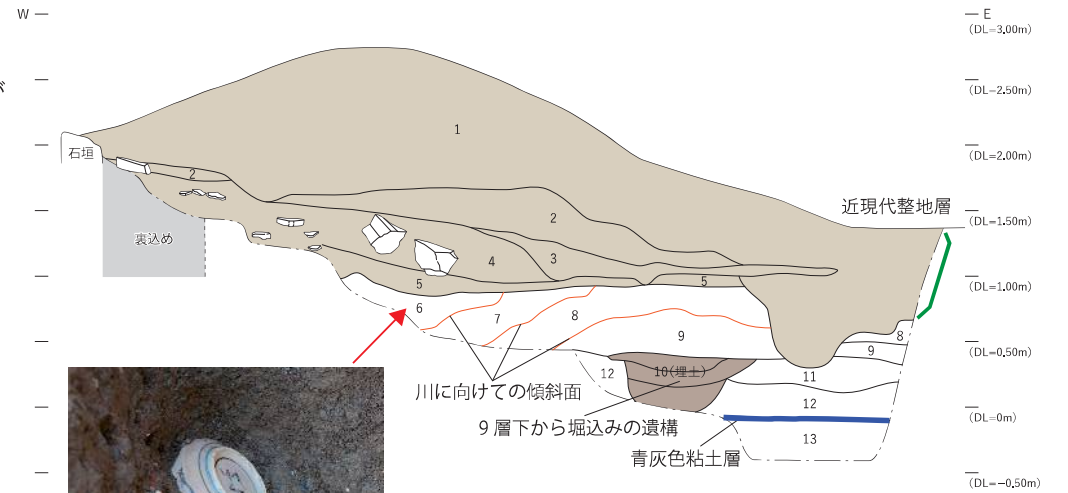
- ・5-2参照

3. 西側石垣背後の電気探査による新堀の痕跡について

- ・5-3参照

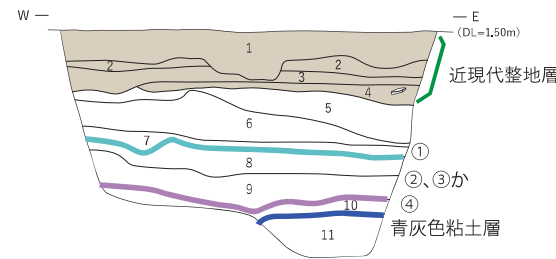


トレンチ配置図



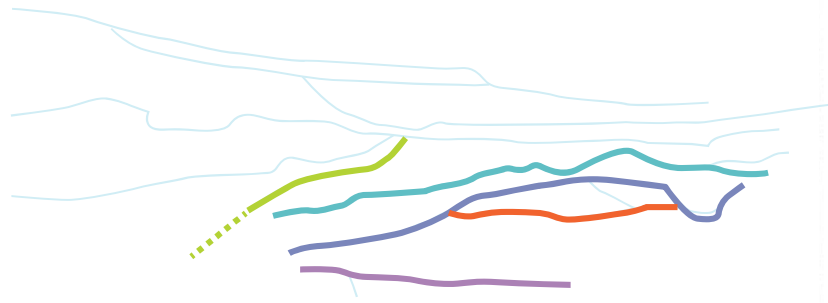
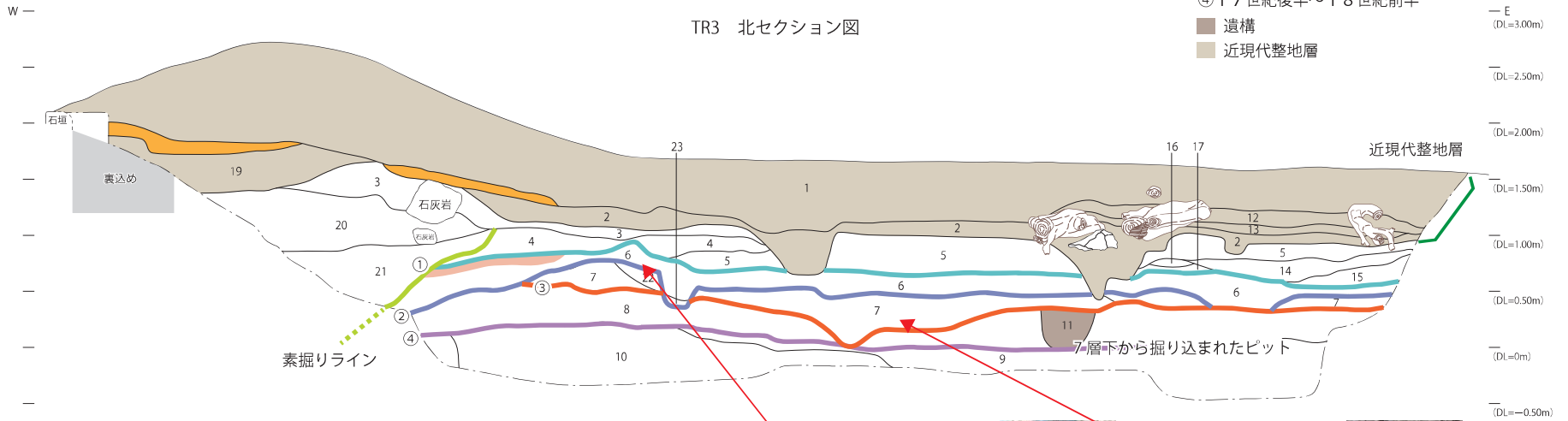
TR1 北セクション図

- ① 明治か
- ② 19世紀か
- ③ 18世紀後半～19世紀か
- ④ 17世紀後半～18世紀前半
- 遺構
- 近現代整地層



TR2 北セクション図

- ① 明治か
- ② 19世紀か
- ③ 18世紀後半～19世紀か
- ④ 17世紀後半～18世紀前半
- 遺構
- 近現代整地層



TR3 北セクション分層状況



遺物出土状況



ルート痕跡



矢穴痕跡





写真1 TR4 設定状況



写真3 TR4 コンクリート・丸太杭検出状況



写真2 TR4 設定状況 対岸より



写真4 TR4 掘削時石垣状況





写真5 TR4 コンクリート除去後掘削状況



写真7 TR5 掘削状況



写真6 TR4 コンクリート除去後掘削状況 近景



写真8 TR5 桐木近景